

2000年（平成12年）10月31日（火曜日）

毎日新聞

日本と台湾の 交流促進目指し

松本で「アジア・ オープン・フォーラム」

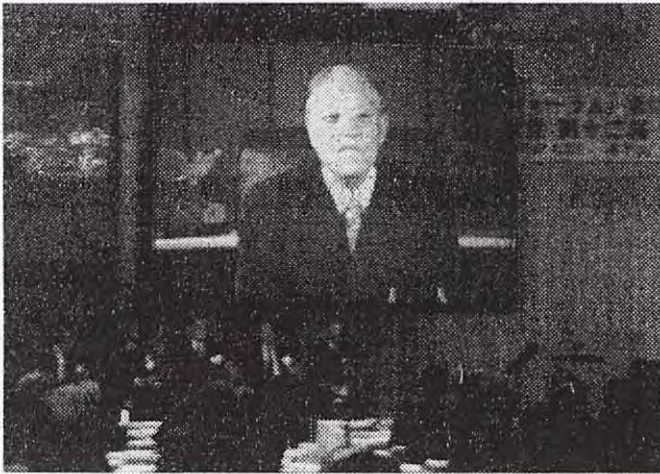
日本と台湾の有識者らが、両国の交流促進などを
目指して討議する民間会議
「アジア・オープン・フォ
ーラム」が30日、松本市内
のホテルで始まった。同市
出身の中嶋嶺雄東京大学
長ら9人の世話人が中心と
なり、1989年から日本
と台湾で交互に開催。今回
が12回目で、同市では初開
催となった。

同フォーラムには日本か
ら約120人、台湾から約
80人の研究者らが出席。「新
世紀への知的戦略」を共通
テーマに、「グローバルズ
ムとアジアの現実」「経済
戦略と情報環境」「文化と
安全保障」について31日ま
で討議が行われる。

討議に先立ち行われた開
会式では、外交事情などで
来日することができなかつ

た、台湾の李登輝前総統の
あいさつもビデオテープで
流された。李前総統は「文化
の違いや歴史的背景を超え
て、全人類が共存していけ
る新世紀に向かってまい進
していく必要がある」とし、
松本へ来ることが果たせず
「残念の至り」と話した。
フォーラムは、日本と台
湾の交流や協力の促進に一
定程度の成果をみたとし
て、今回の松本会議が最後
となる。世話人として同フ
ォーラムの活動に携わって
きた中嶋学長は、「これまで
の会議で日台の相互理解
など十分な成果を出せたの
で、ここで一区切りつけた
いと思っていた。最後に故
郷の松本に、会議を通して
知り合えた多くの友人を招
くことができ、思い残すこ
とはない」と、満足そうに
話していた。

【藤井 裕介】



ビデオで挨拶をする台湾の李登輝前総統